

公認審判員 AAA 認定試験実施要項

- 1.実施期日 実技試験 ①平成 27 年 9 月 6 日(第 20 回東日本綱引選手権大会)
②平成 27 年 10 月 18 日(2015 全日本男女混合綱引大会)
講習会、学科試験、口頭試験
平成 27 年 10 月 24 日(土) 12:30 受付 13:00~18:00 講習会
10 月 25 日(日) 9:30~11:30 筆記試験 11:30~13:00 昼食
13:00~16:30 口頭試験
* 多少の時間変更あり、受験者確定後に別途連絡。
- 2.実施場所 実技試験:①長野県長野市 ②兵庫県姫路市
学科試験:国立オリンピック記念青少年総合センター会議室(渋谷区代々木神園町 3-1)
- 3.認定目的 全国規模の大会における審判長、大会運営及び地方連盟を支えるに必要な能力、資質、識見、
人格を有する人材の認定。
- 4.受験資格 以下の(1)~(4)項をすべて満たしている者。
(1)公認審判員 AA 資格取得後 3 年以上経過していること。
(2)公認審判員 AA で公式大会での審判員経験 20 回(大会)以上を有すること。
(3)平成 25~26 年度中に、中央研修会又はブロック研修会を受講していること。
(4)平成 27 年度公認審判員年次登録を済ませていること。
* 前年度新規の受験で実技または学科試験に合格した者は、それぞれの当該試験を免除。
- 5.推薦基準 受験資格を満たし、且つ認定目的に適う人材と所属連盟会長が判断した者。
- 6.試験科目 実技試験、学科試験、口頭試問
実技試験:実際の試合での技量、態度、動き、リーダーシップ等判定
学科試験:日本綱引連盟定款、競技規則、公認審判員規程、綱引の歴史、スポーツ人として
の一般教養等について択一式、記述式問題
小論文 :綱引の今日の問題点、スポーツに係わる社会的問題点等
口頭試問:一般時事問題、綱引競技への情熱度、リーダーとしての心構え、組織内外問題の
解決方法、人物評価等を判断評価
- 7.試験委員 口頭試問委員は日本綱引連盟役員、関係者等計5名で行う。
- 8.受講資料 学科試験資料は受験申し込み者に事前に郵送する。
- 9.最終認定 試験合格者については、理事会の承認を経て認定される。
- 10.登録 所属都道府県連盟を経て日本綱引連盟に登録料を添え登録する。
- 11.受験料 12,000 円(講習会受講料含む)
- 12.申込期限 平成 27 年 7 月 14 日(火)
- 13.申込方法 所定申込書に必要事項を記入し、所属連盟会長の承認を受け、振込み受領証(コピー可)を
添付し日本綱引連盟に郵送のこと。
- 14.振込先 ゆうちょ銀行:口座記号番号 00160-0-418507 加入者名:公益社団法人日本綱引連盟
- 15.その他 10/24(土)の宿泊は青少年総合センターを手配済み。希望者は申込書にその旨記入のこと。

AAA 認定試験出題範囲

I 一般教養

- (1) スポーツの歴史(古代オリンピックなど若干の例)
- (2) 時事問題、政治、経済、社会
- (3) アンチドーピングの取り組み

II 綱引の歴史

- (1) 古代綱引の起源
- (2) 競技としての綱引
- (3) オリンピックについての過去の歴史年代を確実に覚える
- (4) TWIF の発展、設立の経緯

III 日本の綱引

- (1) 国内での綱引の沿革、地方の行事など若干の例
- (2) 日本綱引連盟の誕生
- (3) 県連組織第 1 号
- (4) 全日本選手権大会の開始
- (5) 日本綱引連盟の法人化
- (6) 国内綱引競技の普及振興について
- (7) 現状の競技者人口と登録者人口、審判員の増減、問題意識の啓発

IV 競技上のルールの変遷

- (1) 競技規則
- (2) 審判員規程
- (3) 競技者、審判員の登録規程

V 競技規則

- (1) 競技場とロープ
- (2) 用具、服装、プロテクト着衣、シューズ、滑り止め
- (3) 登録、計量等
- (4) 競技方法、ロープの握り方及び姿勢
- (5) 勝敗の決定
- (6) ノープルの場合
- (7) 反則行為と審判の表示動作
- (8) コーション
- (9) 主審、副審それぞれの任務
- (10) 国際綱引連盟規則との大きな違い部分

VI 公認審判員規程

- (1) 審判員の心構え
- (2) 審判員の分限
- (3) 審判員のクラス